

県政報告「翠恒たより」

まことに日に新たに、日々新たに、また日に新たなり

暑い日が続いておりましたが、お元気で過ごしていただきたいと思います。さして、本年は四大地震をはじめとする自然災害や政治・経済・社会、各分野に於いて激動的な施策が求められております。一方、国際化・情報化社会が進展する中、地球規模の視点から地域を捉えてゆく考え方が、すなわちグローバルイズムが重視されてきております。特に自ら部会長を務めている環境・農政の分野から実践してゆきたいと考えております。

県会議員 鈴木 恒夫



遊行の盆 (庚申堂前にて)

最近の活動から



ガン議連視察陽子線装置08.4.8 静岡県立がんセンターにて



湘南音祭 08.6.28 湘南港特設ステージにて

発行：鈴木 恒夫 後援会
発行責任者：木村 哲也
〒251-0871 藤沢市善行2-19-4
TEL 0466-83-2121 FAX 83-2122



遊行の盆 遊行寺境内 08.07.26

遊行の盆から

七月二五日・二六

日両日第三回遊行の盆が盛大に開催されました。

特に本年は念願であった流し踊りが遊行通りを中心に執り行なわれました。個人的な話になりますが、私、鈴木家のルーツは遊行通り庚申堂(六十年ごと)に御開帳・市指定有形文化財)付近にあり、遊行寺山内、真浄院の檀家になります。そんな結ゆもあり、今回の行事には感慨ひとしおな思いがありました。「踊り念仏」が盆踊りのルーツであると言われており、由緒ある藤沢の地域伝統文化に根ざした、夏の風物詩として定着し、今後、地域が活性化できるよう協力してゆきたいと考えます。



川崎にあるJFE環境(株)にて プラスチックリサイクル08.6.12



グラウンドゴルフ大会 08.5.23 稲荷広場にて



武田薬品新研究所の説明08.7月



石井村岡村長の碑除幕式4.26

題字「まことに日新たに」

本年五月に中国国家主席、胡錦濤氏が来日し、早稲田大学で講演した際、引用した故事。

「四書五経」の一つ「大学」より、中国古代殷王朝を樹立した湯王が顔を洗う器に「苛日新 日日新 又日新」の文字を刻印し、毎朝、洗顔の都度ながめ、決意を新たに国政に臨んだとのこと。

自らも、情性に流される気持ちを押しさえ、日々新たに気持ちを引き締め、意欲的に事にあたり、進歩・向上する人生でありたいと思います。



ブルーベリーの里



宮原耕地レンゲの里祭り

藤沢産のブルーベリー7月27日に摘み取りに行きました。甘くてとっても美味しいです。時々酸っぱい味も入りコントラストが良かったです。凍らせてお酒のつまみによし、ITで疲れた目に最適です。場所は、県道丸子中山茅ヶ崎線宮原中央の信号を目久尻川方面へ行き、橋の手前右側に看板あり。詳しくは、http://www.goshomi.net へ。今後も、農業荒地の有効利用のために広くご意見をお願いいたします。

宮原耕地でのーレンゲまつり &ブルーベリーの里ー 訪問

がん克服条例をはじめとし、がんに取り組む機運と施策が動き出しております。一方、藤沢市に武田薬品工業(株)の新研究所が22年度の稼動が予定されております。もちろん、がん新薬開発に重点が注がれ、今後、がんセンターをはじめとする医療機関との連携が深まると予測されます。そして、神奈川発のがん特効薬の研究開発に期待をしております。

議会運営委員長に就任



五月の臨時県議会におきまして、新しい役割が決まりました。まず、議会運営委員長は会期中、また、県議会改革の要として、議長として結果よく役割がゆく役割が気になります。張りまくります。環境・農政部門で、行政の課題が山積み野でもあり、県民の期待にこたえるべく努力いたします。身近に出来るエコ対策や、農業荒廃地の活用策などと向き合っています。

五月の臨時県議会におきまして、新しい役割が決まりました。まず、議会運営委員長は会期中、また、県議会改革の要として、議長として結果よく役割がゆく役割が気になります。張りまくります。環境・農政部門で、行政の課題が山積み野でもあり、県民の期待にこたえるべく努力いたします。身近に出来るエコ対策や、農業荒廃地の活用策などと向き合っています。

条例パンフレットと運用・解釈まとまる



重粒子線治療装置の導入予定

重粒子線治療装置は、「神奈川県構想・実施計画」の戦略プロジェクト「安心して暮らせる地域保健・医療制度の整備」の中で県立がんセンターの機能強化として導入を計画しており、平成20年度では整備の準備作業として基本構想の策定を行う。

①全体スケジュール(予定)

年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23~25	H26
内容	導入表明		基本構想策定	調査設計	基本・実施設計	装置建設	治療開始

- ②検討項目
- ・施設規模(治療内容、装置仕様、施設仕様等)
 - ・人材育成、人材確保方策
 - ・事業運営体制、事業収支計画等
 - ・各種法規制及び周辺への影響調査

新がんセンターの機能と目標

新がんセンター施設の概要と比較

	新施設	現行施設	備考
病床数	415床	415床	短期連携病棟の創設 無菌・緩和ケア病棟の増床 個室の充実
延床面積	46,500 約47,000㎡	33,353.06㎡	
敷地面積	約37,800㎡	18,276.30㎡	
手術室	12室	6室	外来手術センターの創設
ICU・HCU	ICU 6床 HCU 18床	ICU 6床 HCU 6床	
外来部門	外来ブース56ブース 外来化学療法50床	外来ブース32ブース 外来化学療法24床	待ち時間の短縮 患者サービス充実
放射線治療	リニアック 4台	リニアック 1台 マイクロトロン 1台 コバルト60 1台	放射線治療の充実

新がんセンターの運営目標

	目標値：平成37年度	参考：平成18年度
新入院患者数(実患者数)	9,000人/年	6,831人/年
延入院患者数	135,000人/年	133,187人/年
延外来患者数	257,000人/年	175,117人/年
平均在院日数	15日	19.5日
病床利用率	91.0%	87.9%
手術件数	5,000件	2,790件

夏までに経営改善計画

松沢知事が表明

松沢知事は10日、経営悪化が指摘されたことに対し、真摯に受け止めて、資金繰り悪化の可成りな改善を要していることを明らかにした。また、松沢知事は「経営改善策を示すから、執行すべきではないか」と指摘した。松沢知事は「一橋、川崎両市と連携し、積極的な営業活動」を要するとしている。

松沢知事は10日、経営悪化が指摘されたことに対し、真摯に受け止めて、資金繰り悪化の可成りな改善を要していることを明らかにした。また、松沢知事は「経営改善策を示すから、執行すべきではないか」と指摘した。松沢知事は「一橋、川崎両市と連携し、積極的な営業活動」を要するとしている。

松沢知事は10日、経営悪化が指摘されたことに対し、真摯に受け止めて、資金繰り悪化の可成りな改善を要していることを明らかにした。また、松沢知事は「経営改善策を示すから、執行すべきではないか」と指摘した。松沢知事は「一橋、川崎両市と連携し、積極的な営業活動」を要するとしている。

松沢知事は10日、経営悪化が指摘されたことに対し、真摯に受け止めて、資金繰り悪化の可成りな改善を要していることを明らかにした。また、松沢知事は「経営改善策を示すから、執行すべきではないか」と指摘した。松沢知事は「一橋、川崎両市と連携し、積極的な営業活動」を要するとしている。